

古文書で知る、江戸時代の尼崎

“尼崎地域の古文書” 入門講座、参加者募集！！

(尼崎郷土史研究会古文書講座・入門コース)

主催：尼崎郷土史研究会

共催：尼崎市立歴史博物館

江戸時代の尼崎市域には73もの町村があり、農業だけでなく魚業や商業など人々の多様な生活が繰り広げられていました。その様子については、『尼崎市史』や『図説尼崎の歴史』などの書籍から豊富な情報を得られますが、その情報の源には地域に遺された多くの古文書が存在します。

そんな古文書から、自分の眼で身近な地域の歴史情報を読み取って見ませんか？

尼崎郷土史研究会には、長年の歴史をもつ古文書講座もありますが、今回は初めて古文書を読んでもみようという方々に向けて、講座を開きます。どうぞ、ご参加下さい。

1 尼崎郷土史研究会古文書講座・入門コース 全3回

- 1回目 3/16 (木) 尼崎地域の古文書とは
- 2回目 4/7 (金) 古文書から見る尼崎の生活
- 3回目 5/12 (金) 古文書の読み方・調べ方

2 会場：尼崎市立歴史博物館 (尼崎市南城内 10-2)

(電車・バス利用の方：「阪神尼崎駅」南口から南東へ徒歩 10分)

3 時間：3回とも 13:00~14:30

4 講師：中村 光夫 氏 (尼崎郷土史研究会副会長)

プロフィール：1949年生まれ。尼崎市の地域文書館と歴史博物館に於いて、四十年余「尼崎市史」の編集、地域古文書類の調査・収集を担当
現在は、尼崎の地域史を研究するかたわら、伊丹市・宝塚市にて古文書を読む会の講師を担当

5 募集人数：30人 (先着順)、参加費不要

6 申込先：尼崎市立歴史博物館 (文化財担当)

Tel 06-6489-9801 Fax 06-6489-9800

受付開始 令和5年3月5日(日)より